

一般社団法人四日市青年会議所 2025 年度  
8 月度例会及びサルビア基金交付金事業

70 周年記念委員会  
地域活性化委員会

1. 合同開催におけるメリット

- ①2 委員会で動員するため、参加動員数の増加が見込める。
- ②予算規模が拡大するため、事業内容の幅が広がる。
- ③委員会を超えたチームワークが構築され、奉仕、友情の機会がより一層感じられる。
- ④2 委員会の視点で事業構築するため、事業内容や実施による工夫などの考え方の幅が広がり、より密度の高い事業構築が可能となる。

2. 合同開催におけるデメリット

- ①予算の按分が発生し、議案構築が複雑化する。
- ②合同の委員会、小委員会が増え、日程調整がしづらくなる。
- ③報告議案の擦り合わせが必要となり、負担が増加する。
- ④事業内容や実施による工夫などの考え方の幅が広がる半面、意思決定が難しくなる。
- ⑤必要書類が増え、負担が増加する。

3. 次年度への提言

- ①事業を合同開催する場合は、予算の按分や議案の擦り合わせなどの負担を軽減させるために、できる限り議案を一本化すると良い。
- ②2025 年度においては、予算上の問題で合同開催せざるを得ない状況(70 周年記念委員会から地域活性化委員会へ合同開催を打診した形)であったが、議案作成、日程調整等におけるデメリットが非常に大きく、それを上回るほどのメリットがない限り、合同開催は推奨しない。

以上